

# いわき新舞子ハイツ 宿泊約款

(適用範囲)

第1条 いわき新舞子ハイツ（以下「当館」という。）が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとし、

2 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、

(宿泊契約の申込み)

第2条 当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者氏名、住所、電話番号。
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻。
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の宿泊料による。）
- (4) その他、当館が必要と認める事項。

2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当館が前条の申し込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の宿泊料を限度として、当館が定める予約金を当館が指定する日までにお支払いいただきます。

3 予約金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4 第2項の予約金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとし、ただし、予約金の支払期日を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(予約金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の予約金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の予約金の支払いを求めなかった場合及び当該予約金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 客室に余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
  - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力。
  - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
  - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの。
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (7) 宿泊しようとする者が、当館若しくは当館従業員に対し、暴力、脅迫、威圧的な要求行為を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求したとき。またはかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
- (8) 宿泊しようとする者が、泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。または他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部または一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当館が予約金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館が宿泊客に告知したときに限ります。

3 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当館の契約解除権)

第7条 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

(1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、または同行為をしたと認められるとき。

(2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。

イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員または暴力団関係者、その他の反社会的勢力。

ロ 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。

ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの。

(3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。

(5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、または合理的な範囲を超える負担を求められたとき。

(6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。

(7) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。

2 当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて次の事項を登録していただきます。

(1) 宿泊客の氏名、住所、電話番号、年齢及び性別。

(2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日。

(3) 出発日及び出発予定時刻。

(4) その他、当館が必要と認める事項。

2 宿泊客が第12条の料金の支払いを助成券、宿泊券等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

(1) 超過2時間までは、室料相当額の20%

(2) 超過4時間までは、室料相当額の50%

(3) 超過4時間以上は、室料相当額の100%

3 前項の室料相当額は、宿泊最終日の宿泊料金から入湯税額を差し引いた金額の60%とします。

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊客は、当館内において、当館が別に定める利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条 当館の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。

(1) フロント・キャッシャーサービス時間

イ 門 限 午後 11 時

(門限以降の出入りについては、フロントへお申し出ください。)

ロ フロント 午前 7 時 00 分から午後 10 時 00 分まで

(2) 飲食サービス時間

イ 朝食 午前 7 時 00 分から午前 8 時 30 分まで

ロ 昼食 午前 11 時 00 分から午後 2 時 00 分まで

(オーダーストップ午後 1 時 30 分まで)

ハ 夕食 午後 6 時 00 分から午後 8 時 30 分まで

(3) 附帯サービス施設時間

イ 温 泉 大 浴 場 午後 3 時 00 分から午後 11 時 00 分まで

午前 5 時 00 分から午前 9 時 00 分まで

ロ 宴 会 場 午後 5 時 00 分から午後 9 時 00 分まで

ハ 会 議 室 午前 9 時 00 分から午後 9 時 00 分まで

ニ レ ス ト ラ ン 午前 11 時 00 分から午後 2 時 00 分まで

(オーダーストップ午後 1 時 30 分まで)

ホ カ ラ オ ケ ル ー ム 午前 10 時 00 分から午後 11 時 00 分まで

ハ 売 店 午前 7 時 30 分から午後 8 時 00 分まで

2 前項の時間は、臨時に変更することがあります。

(料金の支払い)

第 12 条 宿泊料金等の支払いは、通貨または当館が認めた助成券、宿泊券等これに代わり得る方法により、宿泊客の出發の際または当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

2 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても宿泊料金は申し受けません。

(当館の責任)

第 13 条 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、またはそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときはこの限りではありません。

2 当館は、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第 14 条 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第 15 条 宿泊客がフロントにお預けになった物品または現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は 10 万円を限度としてその損害を賠償します。

2 宿泊客が、当館内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意または過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館は、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、当館に故意または重大な過失がある場合を除き、3 万円を限度として当館はその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第 16 条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡します。

2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物または携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、発見日を含め 7 日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。また、飲食物及び雑誌並びにその他の廃棄物に類するものについては、チェックアウトの翌日までにご連絡がない場合には、当館にて任意に処分させていただきます。

3 前2項の場合における宿泊客の手荷物または携帯品の保管についての当館の責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車責任)

第17条 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意または過失によって損害を与えたときは、その責めに任じます。

(宿泊客責任)

第18条 宿泊客の故意または過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

(免責事項)

第19条 当館内からのインターネット通信の利用にあたっては、宿泊客自身の責任において行うものといたします。インターネット通信の利用中にシステム障害、その他の理由によりサービスが中断し、その結果、利用者がいかなる損害を受けた場合においても当館は一切の責任を負いません。また、インターネット通信の利用に当館が不適切と判断した行為により当館及び第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

(令和元年10月1日改定)

別表第1

宿泊料金等の内訳(第2条第1項の(3)関係)

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	(1) 基本宿泊料(室料+朝・夕食料) (2) サービス料(1)×10%
	追加料金	(3) 追加飲食(朝・夕食以外の飲食料)及びその他の利用料金 (4) サービス料(3)×10%
	税金	(5) 消費税 (6) 入湯税

[備考] 宿泊料金は、ホームページ等に掲示する料金によります。

別表第2

違約金(第6条第2項関係)

		契約解除の通知を受けた日				
		不 泊	当 日	前 日	2~6日前	7~14日前
契約申込人数	14名まで	100%	80%	20%		
	15名から 30名まで	100%	80%	20%	10%	
	31名から 100名まで	100%	80%	80%	20%	10%
	101名以上	100%	100%	80%	50%	20%

[備考] 1. %は、宿泊料金に対する違約金の比率です。

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮により契約解除された日の解約条件により違約金を申し受けます。

3. 団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合は、宿泊の10日前(申込みが既にその期間内の場合はその申込日)における宿泊人数の10%(端数が生じた場合は切り上げる。)にあたる人数については違約金をいたしません。